

「名寄市水道事業経営戦略（素案）」について

1. 経営戦略について

「経営戦略」とは、国が示す「公営企業・第三セクター改革」の中の取り組みの一つとして、公営企業の廃止・民営化や広域的な連携等も含めた抜本的な改革の検討を更に進めるため、経営基盤強化と財政マネジメントの向上を図ることを目的とし策定を推進しているものです。

総務省では、「経済・財政再生計画」の「集中改革期間」である H28～H30 までの間、集中的に策定を推進しており、策定ガイドラインの公表や策定に要する経費に対する特別交付税措置、毎年度策定に係る進捗状況を公表するなど、取り組みの強化が図られています。

これまで名寄市水道事業は、将来にわたり安定的に経営するための計画として、計画期間 5 年間の「中期経営計画」を策定し進めており、「中期経営計画」が平成 28 年度までの計画であったため、それに替わるものとして中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定し、経営基盤強化を図ることとしています。

なお、下水道事業については平成 29 年 3 月に「下水道事業経営戦略」を策定済みです。

2. 経営戦略の策定

(1) 策定期間

平成 29 年度(2017)から平成 38 年度(2026)までの 10 ヶ年

※本経営戦略の公表が平成 30 年 3 月となりましたことについては、平成 28 年度に中期経営計画に引き続く本経営戦略の策定に取り組んできましたが、今後 10 年の計画期間の核となる事業の投資計画について、事業内容・実施時期等の検討状況を見極める必要があったことから、平成 30 年 3 月に経営戦略を公表することとなりました。

(2) 検証について

- ・進捗管理（モニタリング） ⇒ 毎年度
- ・見直し（ローリング） ⇒ 3～5年に一度

(3) 内容

《基本的な考え方》

中長期的な事業運営と経営の効率化・健全化を目指した投資・財政計画を策定し、総合計画や各計画との整合性を図った経営計画

⇒中期経営計画の次期計画としての位置付け

《具体的な内容》

現状と課題を検証し、投資・財政計画に重点を置き、総合計画等との整合性を図り作成

⇒P3～6「名寄市水道事業経営戦略（素案）」の概要参照

(4) パブリックコメント

2月19日から3月20日の期間に意見を募集し、その後結果を報告いたします。

3. 経営戦略と料金改定

「経営戦略」の投資・財政計画は、安定的に施設・管路の維持管理や投資事業を行う現段階での事業計画に基づき投資額等を積算し、それに見合う収入とするため、仮試算で料金改定を含め収入額を積算することで、収支を均衡させた経営計画となっています。

今回の経営審議会においては、現段階での経営の状況と投資・財政計画を確認いただき、「経営戦略」について検討いただきたいと思います。

料金改定については、現在、第2期拡張事業など施工時期が未確定な事業があることから、今後、投資・財政計画を精査し、あらためて経営審議会に諮り再検討し、慎重に進めることとします。

4. 策定スケジュール

2 / 13	上下水道事業経営審議会
2 / 16	経済建設常任委員会 経営戦略（素案）説明
2 / 19～3 / 20	パブリックコメント